

院内学習会 東京オリンピックと食品規制

2017年10月13日(金)午後3時～5時

参議院議員会館・第101会議室(1階)

東京オリンピックは、開催までに3年を切りました。開催会場問題のようにマスコミに報道される問題・課題だけではありません。食品にかかるさまざまな規制の違いについては、海外から訪日される多くの方々が戸惑われることを危惧します。また、食品規制の異なるEUとのEPA交渉の進展も注目されています。こうした中で加工食品のラベル表示を例にとれば、国際的(CODEX)には食品と食品添加物は区別せずに重量の多い順で表示されますが、日本は食品と食品添加物を区別しますので、単純に翻訳すれば通じるということではありません。また、日本のアレルギーの表示義務対象も、CODEX 基準よりも狭いという現状です。

東京オリンピックを控えて、食品規制に関する方針については、政府の審議会でも検討されているとのことですので、関係省庁からご説明いただき、関係業界、関係団体からの要望も公表していただく場を設けることにしました。

どうぞ、ご参加下さい。

挨拶:学習会の開催にあたって	参議院議員伊藤孝恵	(5分)
出席議員のご紹介とご挨拶:		(10分)
講演(1) 食品衛生規制の見直し		(20分)
	厚生労働省 医薬・生活衛生局 食品基準審査課・食品監視安全課	
講演(2) 食品表示をめぐる事情		(20分)
	消費者庁 食品表示企画課	
講演(3) 食品規制の国際調和をめぐる		(15分)
	弁護士 松本恵美子 先生	
講演(4) GAPへの取組みと課題		(15分)
	全国農業協同組合連合会 参事 立石 幸一 先生	
講演(5) 食品規制の国際調和に関する要望		(15分)
	日本生活協同組合連合会 品質保証部総合品質保証担当 鬼武 一夫 先生	
講演(6) 来日中の外国人からの食品ラベル表示への要望		(10分)
参加者からの意見・要望、質問		(10分)

定員:100名(会場の定員)(無料) 〆切:10月3日午後5時(定員になれば受付停止)

主催:参議院議員 伊藤孝恵事務所

〒100-8962 東京都千代田区永田町2丁目1-1 参議院議員会館1008号室